

二輪車交通事故防止連絡会議の概要

1 日時 令和4年10月11日(火) 14:00～16:10

2 場所 警視庁本部庁舎 第10会議室

3 出席者

田中交通総務課長(開会時の挨拶のみ)、川嶋管理官、上矢係長、那波主任、平野主任(以上警視庁)、東京都交通安全協会・星野課長、日本自動車工業会・飯田氏、東京都公立高等学校長協会・穂積氏、東京都二輪車普及安全協会・赤坂氏、(株)カワサキモーターズジャパン・青木氏、スズキ(株)・大野氏、本田技研工業(株)横山氏、ヤマハ発動機販売(株)・宮本氏、(株)コミネ・阿知波氏、(株)キズキレンタルサービス・松崎氏、バイク便協同組合・志賀氏、SDA・村川(以上17名)。

4 議題

(1) 都内の二輪車交通事故情勢及びヘルメット及び胸部プロテクター着用状況調査結果等について(警視庁)

ア 二輪車の交通人身事故発生状況

○ 交通死亡事故構成率

2022年上半期 全国:二輪車 17.4%、自動車 33.7%、自転車 13.6%、歩行者 35.0%、その他 0.4%。

同 東京都内:二輪車 33.3%、自動車 5.3%、自転車 19.3%、歩行者 42.1%。

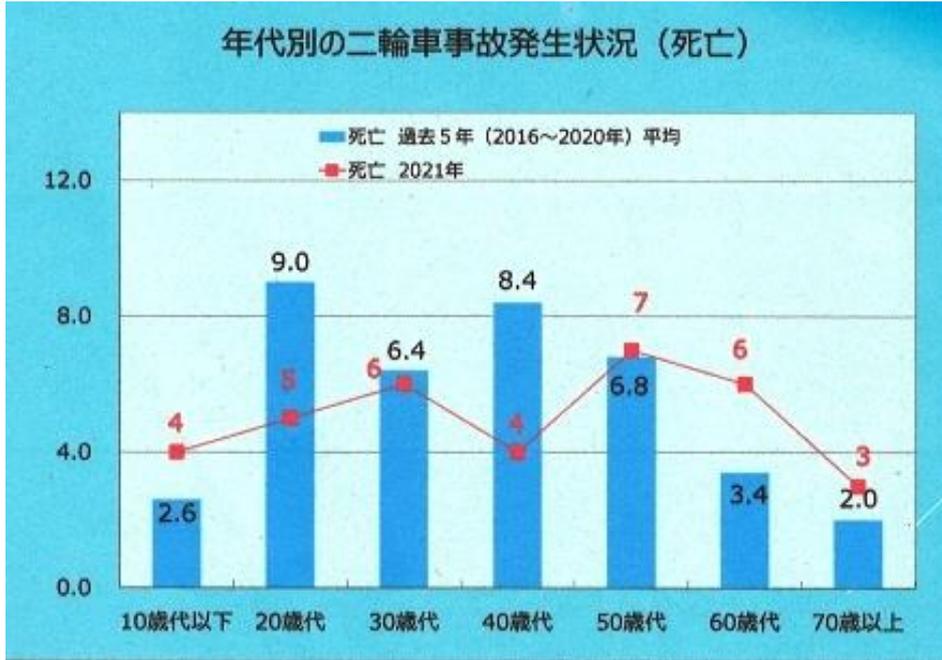
○ 二輪車乗車中の死亡事故構成率の推移(都内・全国)



○ 時間帯別の二輪車事故発生状況(2022年上半期。死亡・重傷)



○ 年代別の二輪車事故発生状況(死亡)



○ 類型別の二輪車事故発生状況(死亡)



○ 二輪車乗車中死者の損傷主部位

- 過去5年(2016~2020年)
頭部 94人 48.7%、胸部 54人 28.0%、腹部 19人 9.8%、その他 26人 13.5%。
- 2021年
頭部 22人 62.9%、胸部 6人 17.1%、腹部 2人 5.7%、その他 5人 14.3%。

イ 二輪車利用者に対するヘルメット及びプロテクターの着用状況調査

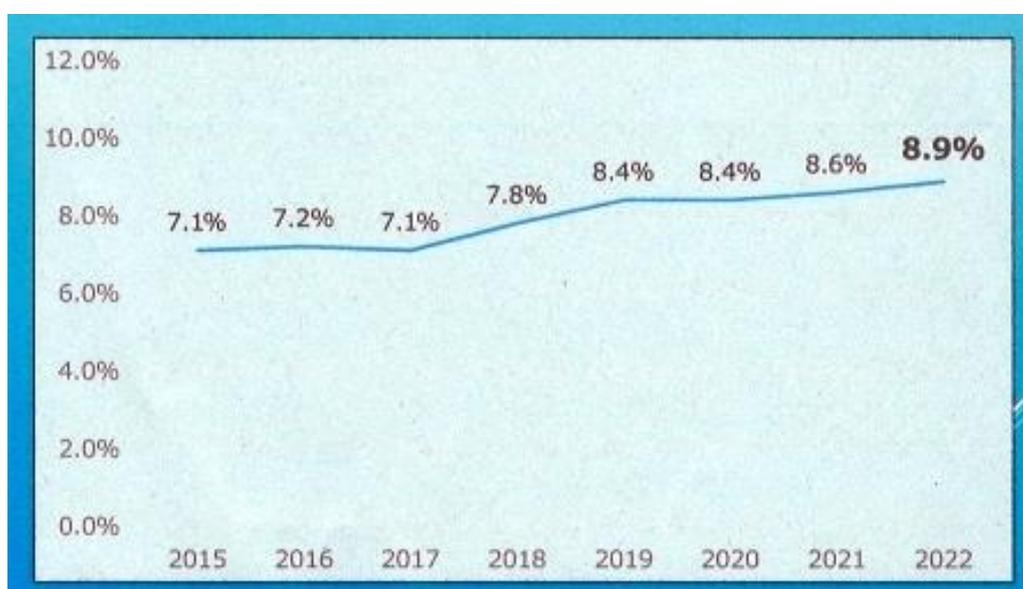
○ ヘルメットの形状別着用状況

- ・ 2021 年
フルフェイス型 34.8%、ジェット型 37.8%、半キャップ型 27.2%、その他 0.2%。
- ・ 2022 年(7 月 1 日から 8 月 31 日の間に調査)
フルフェイス型 32.8%、ジェット型 40.7%、半キャップ型 25.5%、その他 0.9%。

○ ヘルメットのおごひもの結束状況

- ・ 2021 年
適正に結束 72.6%、ゆるく結束 23.1%、結束なし 4.3%。
- ・ 2022 年(7 月 1 日から 8 月 31 日の間に調査)
適正に結束 75.2%、ゆるく結束 21.2%、結束なし 3.5%。

○ 胸部プロテクターの着用率



○ 胸部プロテクターを着用しない理由

- ・ 2021 年
着用が面倒 41.3%、値段が高い 26.2%、プロテクターを知らない 15.5%、格好が悪い 2.3%、その他 14.6%。
- ・ 2022 年
着用が面倒 40.6%、値段が高い 20.9%、プロテクターを知らない 10.4%、格好が悪い 2.4%、その他 25.8%。

(2) 各団体の取組みについて(略)

(3) 意見交換、質疑応答

5 川嶋管理官閉会挨拶

以上